◎日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚の南部の共同開発に関 する協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正に関する日本国

政府と大韓民国政府との間の交換公文

(略称) 韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関す る交換公文の修正取極

昭和六十二年 八月三十一日 ソウルで

○日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚の南部の共同開発に関する協定の掘さく義務に関する ○日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚の南部の共同開発に関する協定の付表の修正に関する 付表..... 目 次 昭和六十二年 昭和六十二年 十月二十六日 八月三十一日 告示 効力発生 (外務省告示第四六八号) 九九九 九九八八 九九一 九九一 九九九 九九三 ページ

韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正取極

九八九

九九〇

の共同開発に関する協定の付表の修正に関する交換公文)(日本国と大韓民国との間の両国に隣接する大陸棚の南部

(日本卿書簡

(訳文)

に代わつて提案する光栄を有します。 協定の付表をとの書簡の付表をもつて代えることを日本国政府協定の付表をとの書簡の付表をもつて代えることを日本国政府という。)第三条2に言及する光栄を有します。本使は、更に、隣接する大陸棚の南部の共同開発に関する協定(以下「協定」三十日にソウルで署名された日本国と大韓民国との間の両国に三十日にソウルで署名された日本国と大韓民国との間の両国に

日に効力を生ずるものとすることを提案する光栄を有します。合意を構成するものとみなし、その合意が閣下の返簡の日付のであるときは、この書簡及びその旨の閣下の返簡が両政府間の本使は、更に、前記の提案が大韓民国政府にとつて受諾し得るもの

千九百八十七年八月三十一日にソウルでつて敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

(Japanese Note)

Seoul, August 31, 1987

Excellency,

I have the honour to refer to paragraph 2 of Article III of the Agreement Between Japan and the Republic of Korea Concerning Joint Development of the Southern Part of the Continental Shelf Adjacent to the Two Countries signed at Seoul on January 30, 1974 (hereinafter referred to as "the Agreement").

I have further the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that the Appendix to the Agreement be replaced by the Appendix attached hereto.

I have further the honour to propose that if the above proposal is acceptable to the Government of the Republic of Korea, the present Note and Your Excellency's Note in reply to that effect shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments and that the agreement shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正取極

(Signed) Shinichi Yanai Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan

日本国特命全権大使 梁井新一

大韓民国外務部長官 崔恍洙閣下

His Excellency Mr. Kwang-Soo Choi Minister of Foreign Affairs Republic of Korea

Appendix	
でれ、次の座標の各点を順次に結ぶ直線によれ、次の座標の各点を順次に結ぶ直線によれ線三十二度五十三・四分東経百二十七度四十六・三分 ・五分 ・五分 ・五分 ・五分 ・五分 ・五分 ・五分 ・五	付表
北緯三十二度五十七・〇分東経百二十七度四十一。一分 北緯三十二度五十三・四分東経百二十七度三十六。三分 北緯三十二度四十六・二分東経百二十七度二十七。八分 北緯三十二度十三・六分東経百二十七度十三。一分 北緯三十二度十一を四十七・〇分東経百二十六度三十五。六九六〇分 北緯三十一度四十七・〇分東経百二十六度三十五。六九六〇分	小区域は、そ
・	
北緯三十二度五十七・〇分東経百二十七度四十一。一分 北緯三十二度五十三・四分東経百二十七度二十七。八分 北緯三十二度二十三・六分東経百二十七度二十七。八分 北緯三十二度十三・六分東経百二十七度十三。一分 北緯三十一度四十七・〇分東経百二十六度三十五。六九六〇分 北緯三十一度四十七・〇分東経百二十八度十四。〇分	第一小区域
北緯三十二度五十三・四分東経百二十七度三十六・三分 北緯三十二度三十三・六分東経百二十七度十三・一分 北緯三十二度三十三・六分東経百二十七度十一・五分東経三十一度四十七・〇分東経百二十六度三十五・六九六〇分 北緯三十一度四十七・〇分東経百二十八度十四・〇分 北緯三十二度十二・〇分東経百二十七度五十七度三十五・六九六〇分	座標
北緯三十二度四十六・二分東経百二十七度二十七。八分 北緯三十二度三十三。六分東経百二十六度五十一。五分 北緯三十二度十一度四十七。〇分東経百二十六度三十五。六九六〇分 中超三十一度四十七。〇分東経百二十八度十	座標二
北緯三十二度三十三・六分東経百二十七度五十一・五分東経三十一度四十七・〇分東経百二十六度三十五・六九六〇分 中五・六九六〇分 北緯三十一度四十七・〇分東経百二十八度十四・〇分 四・〇分	座標三
北緯三十二度十二。〇分東経百二十七度五十七年五十一度四十七。〇分東経百二十八度十七五。六九六〇分東経百二十八度十七五。六九六〇分	座標四
北緯三十二度十二。〇分東経百二十七度五十四。〇分四・〇分東経百二十八度十十五。六九六〇分	座標五
北緯三十二度十二。○分東経百二十七度五十四。○分本緯三十一度四十七。○分東経百二十八度十一	座標六
標八 北緯三十二度十二・○分東経百二十七度五十	座標七
	座標八

30°46.2'N	Point 2	北緯三十度四十六。二分東経百二十七度二十	座標二
		十八。六一三九分	
31°47.0°N	Point 1	北緯三十一度四十七・○分東経百二十七度三	座標一
	Subzone III		第三小区域
		十五。六九六〇分	
31°47.0'N	Point 1	北緯三十一度四十七・〇分東経百二十六度三	座標一
		十八。六一三九分	
31°47.0'N	Point 4	北緯三十一度四十七・○分東経百二十七度三	座標四
		二。五五六九分	
30°46.2'N	Point 3	北緯三十度四十六。二分東経百二十七度二十	座標三
		五・五分	
30°46.2'N	Point 2	北緯三十度四十六・二分東経百二十五度五十	座標二
		十五 · 六九六〇分	
31°47.0'N	Point 1	北緯三十一度四十七・〇分東経百二十六度三	座標一
	Subzone II		第二小区域
		十一。一分	
32°57.0'N	Point 1	北緯三十二度五十七・○分東経百二十七度四	座標一
		八•〇分	
32°57.0'N	Point 11	北緯三十二度五十七・〇分東経百二十八度十	座標十一
		八•〇分	
32°27.0'N	Point 10	北緯三十二度二十七・○分東経百二十八度十	座標十
		十六・〇分	
32°27.0'N	Point 9	北緯三十二度二十七・〇分東経百二十七度五	座標九
		· 〇分	
1	グブタ 傾回 耳樹	韓国との大図棚専音手に開発協気の仕事及で挑さく業務に関する交換公式の修訂用権	韓国との大陸

	-		-																					
韓国との大陸	座標一	第五小区域		座標	经费	Ę	座標四		座標三		座標二		座標一	第四小区域		座標一		座標六		座標五		座標四		座標三
韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正取極	北緯三十度四十六・二分東経百二十七度二十			十 度	二。五五六九 分二分 東紹百二十七度二十二年 新年十度四十之。二分東紹百二十七度二十		北緯二十九度十八・五三七八分東経百二十七	分	北緯三十度十八・二分東経百二十六度五・五	八分	北緯三十度三十三・三分東経百二十六度〇・	五•五分	北緯三十度四十六・二分東経百二十五度五十		十八・六一三九分	北緯三十一度四十七。○分東経百二十七度三	十.〇分	北緯三十一度四十七・○分東経百二十八度五	• 〇分	北緯三十一度十三・〇分東経百二十八度五十	O分	北緯三十度五十四・〇分東経百二十九度四・	一一八七分	北緯三十度四十六。二分東経百二十九度五。
公文の修正取極	Point 1	Subzone V		Point 1	Point 5		Point 4		Point 3		Point 2		Point 1	Subzone IV		Point 1		Point 6		Point 5		Point 4		Point 3
九九五	30°46.2'N			30°46.2'N	30°46.2'N		29°18.5378'N		30°18.2'N		30°33.3'N		30°46.2'N			31°47.0'N		31°47.0'N		31°13.0'N		30°54.0°N		30°46.2'N
	127°22.5569'E			125°55.5'E	127°22.5569'E		127°0.0'E		126°5.5'E		126°0.8'E		125°55.5'E			127°38.6139'E		128°50.0'E		128°50.0'E		129°4.0'E		129°5.1187'E

韓国との大陸	韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正取極	公文の修正取極	九九六	
	二・五五六九分			
座標二	4 緯	Point 2	30°0.0°N	127°10.5854'E
Cold limits and		•		
座標三	五七七二分 北緯三十度○・○分東経百二十八度五十二・	Point 3	30°0.0'N	128°52.5772'E
座標四	けれている。○分東経百二十九度九・○	Point 4	30°19.0'N	129°9.0'E
座標五	北緯三十度四十六・二分東経百二十九度五・	Point 5	30°46.2'N	129°5.1187'E
	一一八七分			
座標 一	北緯三十度四十六・二分東経百二十七度二十	Point 1	30°46.2'N	127°22.5569'E
	二•五五六九分			
第六小区域		Subzone VI		
座標一	1.日↑ おおり ○分東経百二十七度十・五八	Point 1	30°0.0'N	127°10.5854'E
ייין אפן איין		•		1
座標二	度○。○分	Point 2	29°18.5378'N	127°0.0'E
座標三	十八。○分北緯二十八度三十六。○分東経百二十七度三十八	Point 3	28°36.0'N	127°38.0'E
座標四	○分北緯二十九度十九・○分東経百二十八度○・	Point 4	29°19.0'N	128°0.0'E
座標五	十八。○分北緯二十九度四十三・○分東経百二十八度三	Point 5	29°43.0'N	128°38.0'E
座標六	五七七二分北緯三十度○・○分東経百二十八度五十二・	Point 6	30°0.0'N	128°52.5772'E
座標一	北緯三十度〇。〇分東経百二十七度十・五八	Point 1	30°0.0'N	127°10.5854'E

五四分

(韓国側書簡

九九八

(Korean Note)

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本長官は、 本日付けの閣下 Ö

Î 本側書簡

もに、閣下の書簡及びこの書簡が両政府間の合意を構成するも のとすることに同意する光栄を有します。 のとみなし、その合意がとの返簡の日付の日に効力を生ずるも 韓民国政府にとつて受諾し得るものであることを確認するとと 本長官は、 更に、大韓民国政府に代わつて、 前記の提案が大

かつて敬意を表します。 本長官は、以上を申し進めるに際し、

ここに重ねて閣下に向

千九百八十七年八月三十一日にソウルで

務部長官 崔侊洙

外

日本国特命全権大使 梁井新一 閣下

Seoul, August 31, 1987

Excellency,

which reads as follows: of Your Excellency's Note of today's date, I have the honour to acknowledge the receipt

"(Japanese Note)"

between the two Governments, which shall enter into force on the date of this reply. shall be regarded as constituting an agreement agree that Your Excellency's Note and this Note the Government of the Republic of Korea and to Korea, that the above proposal is acceptable to behalf of the Government of the Republic of I have further the honour to confirm, on

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

Minister of Foreign Affairs

(Signed) Kwang-Soo Choi

Mr. Shinichi Yanai His Excellency and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary

の共同開発に 修正に関する交換公文 と大韓民国との 関する協定の 間 の 掘 両 国に さく義務に関する交換公文 隣接 する大陸棚の南部

韓国 側 書 簡

(館文)

政府間の交換公文に言及する光栄を有します。 換公文」という。)及び協定の付表の修正に関する本日付けの両 き掘さく義務に関する同日付けの両政府間の交換公文(以下|交 という。)第十一条、 に隣接する大陸棚の南部 月三十日にソウルで署名された大韓民国と日本国との間 書簡をもつて啓上いたします。 開発権 一の共同開発に関する協定 者が探査権の存続期間中に履行すべ 本長官は、 千九百七十四年一 (以下「協定 の両国

認する光栄を有します。 権の存続期間中に履行すべき掘さく義務に関する次の取極を確 本長官は、 更に、 大韓民国政府に代わつて、 開発権者が探 査

1 (1) 掘さくする。 は掘さく義務を免除され、 の開発権者は、 協定の付表に定める各小区域について認可された両締約 探査権の存続期間の最初の三年の期間中 次の三年の期間中に の坑井を

(Korean Note)

Seoul, August 31, 1987

Excellency,

of Notes") and to the Exchange of Notes between right (hereinafter referred to as "the Exchange performed during the period of exploration drilling obligations of concessionaires to be Agreement"), to the Exchange of Notes between Southern Part of the Continental Shelf Adjacent Japan Concerning Joint Development of the the amendment to the Appendix to the Agreement the two Governments of today's date concerning the two Governments of the same date concerning to the Two Countries signed at Seoul on January the Agreement Between the Republic of Korea and 30, 1974 (hereinafter referred to as "the I have further the honour to confirm, I have the honour to refer to Article XI of

drill one well during the second three-year during the first three-year period and shall shall be exempted from drilling obligations specified in the Appendix to the Agreement authorized with respect to each subzone as period of exploration right. (1) Concessionaires of both Parties

performed during the period

drilling obligations of concessionaires to be Korea, the following arrangements concerning behalf of the Government of the Republic of

of exploration

韓国との大陸棚南部共同開発協定の付表及び掘さく義務に関する交換公文の修正取極

- (2)続期間の残余の二年の期間中に更に一の坑井を掘さくする。 第四小区域について認可された開発権者は、 探査権の存
- (3)国の開発権者によつて行われたものとみなす。 (1) (及び(2) の規定の適用上、 単独危険負担操業は、 両締約
- 2 交換公文の規定する取極は、この取極の効力発生の日に効

みをし、その合意が閣下の返簡の日付の日に効力を生ずるもの とすることを提案する光栄を有します。 取極を確認する閣下の返簡が両政府間の合意を構成するものと 力を失う。 本長官は、 更に、この書簡及び日本国政府に代わつて前記の

か つて敬意を表します。 本長官は、以上を申し進めるに際し、 ことに重ねて閣下に向

千九百八十七年八月三十一日にソウルで

大韓民国外務部長官 崔侊洙

日本国特命全権大使 梁井新一閣下

- the remaining two-year period of exploration right. to Subzone IV shall drill one more well during (2) Concessionaires authorized with respect
- Parties. been performed by concessionaires of both risk operations shall be regarded as having (3) For the purposes of (1) and (2), sole
- Notes shall terminate on the date of entry into force of the present arrangements. 2. The arrangements effected by the Exchange of I have further the honour to propose that
- agreement between the two Governments and that Japan shall be regarded as constituting an arrangements on behalf of the Government of reply thereto confirming the foregoing the present Note and Your Excellency's Note in the agreement shall enter into force on the

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest date of Your Excellency's Note in reply. I avail myself of this opportunity to renew

(Signed) Minister of Foreign Affairs Kwang-Soo Choi

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan Mr. Shinichi Yanai His Excellency

(日本側 書簡

(訳文)

0 書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次

(韓国側 書簡

の合意を構成するものとみなし、その合意がこの返簡の日付の 取極を確認するとともに、 日に効力を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。 本使は、 更に、日本国政府に代わつて閣下の書簡に盛られた 閣下の書簡及びとの書簡が両政 府間

つて敬意を表します。 一使は、 千九百八十七年八月三十一日にソウルで 以上を申し進めるに際し、 ととに重ねて閣下に向 か

日本国特命全権大使

梁井新

外務部

長官

崔侊洙閣下

(Japanese Note)

Seoul, August 31, 1987

Excellency,

of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows: I have the honour to acknowledge the receipt

"(Korean Note)"

shall enter into force on the date of this agreement between the two Governments, which reply. this Note shall be regarded as constituting an and to agree that Your Excellency's Note and arrangements embodied in Your Excellency's Note behalf of the Government of Japan, the I have further the honour to confirm,

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

His Excellency Minister of Foreign Mr. Kwang-Soo Choi (Signed) and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary Affairs

Shinichi Yanai

Republic of Korea

参考)

条約集及び条約集第二八二六号参照)の付表及び掘さく義務に関する交換公文を修正することにつ この取極は、昭和四十九年に署名された韓国との大陸棚南部共同開発協定(昭和四十九年二国間

いて定めたものである。